

## 第20回 埼玉ミニキャンプ報告

マネージャー： 島村 隆博

1. 期間 令和6年8月10日(土)～12日(月祝) 3日間
2. 場所 埼玉県県民活動総合センター
3. 総合指導 緒方 登士雄 氏 (東洋大学名誉教授)
4. テーマ 「動作を通じたコミュニケーション ～わかり合う、心を通わす～」
5. SV(班長) 片岡 弓人 (カントリーグループWado城山)、出井 一紀 (宮代特別支援学校)、菅原 恵 (岩槻はるかぜ特別支援学校)
6. トレーニー A(男・16歳・特支) B(男・11歳・特支) C(男・9歳・特支) D(男・16歳・特支) E(男・44歳・事業所) F(男・22歳・事業所) G(男・20歳・特支) H(女・16歳・特支) I(男・12歳・特支)
7. トレーナー 県内特支教員7名 千葉・長野・群馬県特支教員各1名



## 8 キャンプの概要

### (1) 公開研修会

今回は、総合指導の緒方先生とトレーニーとの実際の関わりを参加者にみていただいたの質疑応答で研修を深めました。

ご協力いただいたトレーニーは、前半は県内肢体不自由特別支援学校に通う高等部のAさん、後半は知的障害特別支援学校に通う小学部のBさんです。Aさんは、うれしそうに表情や仕草で応えてくれるものの、意図しない緊張によりなかなか姿勢づくりが難しい中のやり取りでした。Bさんは、初めてのことに気持ちを整えていくことは難しく、会場入りの前から保護者の方にご苦労いただきました。

フロアからは、見てもわかりにくい手応えの部分や実際に現場でコミュニケーションに苦労されている旨の質問がありました。

最後残りの15分程度の時間では、実際に“生徒役”“先生役”のペアになって、目を閉じた相手に、言葉を使わずに、“身体の動き”だけでどのように意図を伝えるかの実習で盛り上げて終わりました。

### (2) 動作法

今回は、キャンプ初参加のトレーニーが3名ほどに対して、トレーナーはキャンプ経験者が3名ほど、班構成は、サブトレーナーなしの、4組-3組-2組の3班編制でした。各班長のインテークを元に、動作課題に取り組もうとする前提に工夫の必要なケース、動作課題での援助の仕方に工夫が必要なケース、毎回の班別ミーティングで実技を通しての確認がなされていました。トレーニーに応じて、腕挙げ動作や躯幹部のリラク

セッション課題、坐位・膝立ち・立位での体重移動や腰の動き作りの課題を通して、それをどう伝え、感じ取るか、試行錯誤する姿がそこにはありました。

### (3) 研修

トレーナーの研修として、班別ミーティング7回、全体ミーティング2回、実技研修4回を行いました。班別ミーティングは、(埼玉方式として)毎回の動作法終了後に振り返りと次の動作法に向けての実技の確認を行います。全体ミーティングは、他のケースの報告を元に質疑応答にて討論を深めました。

実技研修では、まさに今回のテーマ“動作を通したコミュニケーション”を基盤に“緒方節”が展開されました。言葉ではなく、どんな動作でどんな“意図”が伝わるのか、そしてそれがどんな“受け止め”につながるのか。実際に“(立位での)後倒支持”では、“不安な体験”そして、「どうしたら安心して身を任せられるのか」そうした実技研修が、トレーニーとの動作課題を通しての具体的なやり取りの工夫につながったと考えます。

トレーニー保護者については、動作法の見学や親子動作法(キャンプのお土産)だけでなく、保護者同士の情報交換がよくなされていました。また、総合指導による研修では、実際に動作課題を通して“変化”していく実感を体験されたようです。

### (4) まとめ

私たちは、どうしても“目に見えた結果”を求める傾向にあります。しかし、“臨床動作法”では、“意図”した結果の“身体運動”ではなく、そこにいたる“努力”の過程をととても大切にします。今回のキャンプテーマである“動作を通したコミュニケーション”は、まさに動作課題を通してトレーナーがそのやりとりの瞬間瞬間をどう感じ取り、働きかけを工夫していくか、その結果としてトレーニーの変容につながっていくことをまざまざと見せつけられました。

もう一つ、今回は、トレーナーの係り活動にも力を入れました。また、初参加のトレーニー、トレーナー、県外からの参加も得、総勢30名ほどではありますが、“集団としての一体感”もキャンプの醍醐味ではないでしょうか。“ミニ”で“通い”ではありますが、全国各地で歴史を刻んできた“集団宿泊訓練(通称：一週間キャンプ)”のあれこれがよみがえり、“心理リハビリテーション”の良さを再認識させられました。

おわりに、最後まで一人も欠けずにキャンプが終了できたこと、そしてキャンプ全体の流れを作っていただいた総合指導の緒方登士雄先生に改めて感謝し、今年度のキャンプの報告といたします。